



神奈川ネット 市政報告

No.142

発行日: 2024年11月14日



市議 布瀬めぐみ



市議 吉田なな

たいせつな緑を 守っていくために

9月の一般質問より

住宅が多い大和市において多様な生物を育てている森は貴重なものです。これ以上森の緑が減らないように私たちは守っていかなければなりません。

大和市議 吉田なな

市民に愛されている 大和市の緑

市内には、大規模緑地の森が8つあり、多くの動植物を育てています。*

大和市は、「緑の基本計画」で大規模緑地の緑を保全し、生態系の維持・保全を図っていくと明記しています。

「つるま自然の森」は、中央林間自然の森と相模原市の緑地を含めた一帯の総称で、野鳥や昆虫をはじめとする生態系の維持・保全のためにも貴重な森です。月に2回のボランティアによる手入れにより森の自然が保たれています。子どもも色々な体験の場として利用されたり、市民の憩いの場にもなっています。

「泉の森」は大和市最大の緑地であり、生物の保全・育成活動、環境学習、憩いやレクリエーション、健康づくり等の多様な活動の受け皿になっています。都市生活の中で自然とのふれあいを通じて市民が交流できる森として親しまれています。

*8つの森とは中央林間自然の森、深見歴史の森、泉の森、ふれあいの森、谷戸頭・谷戸緑地、上和田境川緑地、上和田野鳥の森、下和田境川緑地です。

保全より整備活用？

大和市の現在の総合計画では「緑の保全と明記している箇所が、新市長のもと作成中の新大和市総合計画骨子案では「調和のとれた緑の活用」と変更になっています。「保全」という文言がなくなり活動している市民は不安を感じています。

今回の一般質問で文言を変える必要はあるか質問しました。市



つるま自然の森 (写真提供 小杉皓男)

また、計画の重要な文言を変えるのであれば市民やそこで活動するボランティアの方々が納得する説明をするべきです。

緑を守るための 積極的用地取得を

大規模緑地の生物多様性を守るため、樹林と農地の保全を一体的に考えていく必要があります。大和市みどり基金は、市の自然環境を保全し、緑化の推進を図るための基金で、必要な樹林等の土地を買取るためにも使われています。現在約11億7千万円の残高があります。

市は「土地所有者との賃貸借契約などにより、緑地保全に取り組んでいるが、今後の用地取得については慎重に判断していく」と答弁しました。以前に比べ、保全に積極的になっていきます。今後、市が積極的に買取をしていかなければ緑地は開発の対象となる危険があります。率先して買取を行うなど積極的な努力をしていくべきです。

国民健康保険 紙の保険証がなくなる！

国民健康保険の新規の紙の保険証は、12月2日以降配布されなくなります。

今後はマイナ保険証を持っていない方には「資格確認書」が送られてくる予定ですが、暫定的なものでいつまで自動的に送られるかわかりません。国はマイナンバーカードを作ることも、保険証を紐づけすることも任意だとしていますが、マイナ保険証一本化しようとする強行な姿勢は選択の自由を奪っています。

全国保険医団体連合会の調査によると、マイナ保険証の約7割でトラブルが起きている。

マイナ保険証を持つ人も持たない人も困らない体制を作っていくために市が現場の状況を把握して、市民の声を国にあげていくべきです。



おしゃべりサロン (議会報告会) のお知らせ

議会や市政の報告をし皆さんからお話を伺う場です。お気軽にご参加ください。(直接会場にお越し下さい)

1月9日以外の時間はすべて10:00~12:00 出入り自由です。

- | | |
|--|---|
| 12月23日(月) シリウス605 (吉田) | 1月10日(金) シリウス605(布瀬) |
| 12月26日(木) 桜ヶ丘学習センター202(布瀬) | 1月14日(火) ポラリスroom3(布瀬) |
| 12月27日(金) 大和市民会議事務所 上草柳8-15-5(布瀬) | 1月16日(木) みんなのスペースわにわに(布瀬)
大和市桜森3-4-13桜森スクエアⅢ1階 |
| 1月8日(水) ポラリス room2 (吉田) | 1月17日(金) イコーザ307(布瀬) |
| 1月9日(木) つきみ野学習センター201
14:00~16:00(吉田) | |

吉田ななの
一般質問はホーム
ページでもご覧
いただけます。
こちらのQRコード
からお入りください。



*9月議会では、他に「街灯」について質問しました。

次号
まちづくりレポート
2月発行